

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●高松宮記念ではファストフォースがG I 初制覇

3月26日(日)に行われた高松宮記念(G I)ではファストフォース(牡7歳/栗東・西村真幸厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。西村調教師、鞍上の団野大成騎手にとってもJRA G I初制覇となります。

### ●田口貫太騎手がJRA初勝利をあげる

3月26日(日)の2回阪神2日・第1レースではレッツゴーローズが1着となり、同馬に騎乗した田口貫太騎手(栗東・大橋勇樹厩舎)は、JRA初勝利をあげました。3月4日(土)の初騎乗から数えて38戦目でのJRA初勝利となります。

### ●西園翔太調教師と小栗実調教師がJRA初勝利をあげる

3月25日(土)の2回中京5日・第2レースではスマートアンバーが1着となり、同馬を管理する西園翔太調教師(栗東)は、JRA初勝利(延べ7頭目)をあげました。翌26日(日)の2回阪神2日・第7レースではミツルハピネスが1着となり、同馬を管理する小栗実調教師(栗東)も、JRA初勝利(延べ11頭目)をあげました。

### ●大橋勇樹調教師が300勝、上村洋行調教師が100勝を達成

3月26日(日)の2回阪神2日・第1レースではレッツゴーローズが1着となり、同馬を管理する大橋勇樹調教師(栗東)は、現役67人目となるJRA通算300勝(延べ4962頭目)を達成しました。また同日の第11レースとして行われた六甲S(L)ではサヴァが1着となり、同馬を管理する上村洋行調教師(栗東)は、現役148人目となるJRA通算100勝(延べ853頭目)を達成しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●来年のJBCは佐賀競馬場で初の実施、JBC 2歳優駿は門別

2024年の第24回JBCは、11月4日(休・月)に初めて佐賀競馬場で開催されることが決定しました。JBCクラシックは2000<sup>円</sup>、JBCスプリントは1400<sup>円</sup>、JBCレディスクラシックは1860<sup>円</sup>となります。また、JBC 2歳優駿は、引き続き同日に門別競馬場で実施されます。

### ●伏竜S(中山)に挑んだ浦和のヒーローコールは3着

伏竜S(3歳オープン、3月25日、中山)に4番人気で出走したヒーローコール(浦和)は、後ろから2頭目という位置から追い上げ、勝ち馬とは5馬身差ながら3着に入りました。

### ●土佐春花賞(高知)は人気のユメノホノオ【各地の主要3歳重賞】

土佐春花賞(3月19日、高知、1300<sup>円</sup>)は、中団から差を詰めた単勝1.4倍で圧倒的人気のユメノホノオ(牡、父バトルプラン)が4コーナーで抜け出し、デステージを3馬身引き離して2歳時の金の鞍賞に次ぐ重賞勝ち。東海地区デビュー馬限定戦の中京ペガスターC(3月14日、名古屋、1700<sup>円</sup>)は、3番手を追走した単勝1.9倍で断然人気の笠松所属馬スタンレー(牡、父マクマホン)が、4コーナー先頭から後続に2馬身半差を付けて完勝。あやめ賞(3月19日、水沢、1400<sup>円</sup>、牝馬)は、逃げた北海道からの移籍馬ミニアチュール(父ラブリーデイ)が4馬身差で楽勝、単勝1.8倍の支持に応えて金杯に続く重賞2連勝を達成しています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●ドバイワールドCデー〜日本調教馬が3勝の活躍

現地3月25日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で行われたドバイワールドCデーで日本調教馬が3勝をあげる活躍を見せました。

まず勝利を手にしたのはデルマソトガケ(牡3歳、父マインドユアビスケッツ、栗東・音無秀孝厩舎)。G2 UAEダービー(3歳、ダート1900<sup>円</sup>)でC.ルメール騎手を背に逃げると、G1ホープフルSの勝ち馬ドゥラエレーデに5.5馬身差をつけて優勝しました。なお、このレースは上位4着までを日本調教馬が占めています(3着コンティノアール、4着ベリエール)。

G1ドバイシーマクラシック(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、芝2410<sup>円</sup>)を快勝したのが昨年のJRA賞年度代表馬イクイノックス(牡4歳、父キタサンブラック、美浦・木村哲也厩舎)。ルメール騎手の手綱で逃げると、最後は昨年の愛ダービー馬ウエストオーバーに3.5馬身差をつけました。勝ちタイムの2分25秒65はコースレコードです。

そしてこの日のメインとなるG1ドバイワールドC(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、ダート2000<sup>円</sup>)を制したのがウシュバテソロ(牡6歳、父オルフェーヴル、美浦・高木登厩舎)。川田将雅騎手が騎乗した同馬は道中最後方追走から直線で鋭く伸びて2.75馬身差の勝利。日本調教馬としてはオールウェザーで行われた2011年のヴィクトワールピサ以来となる2頭目、ダート開催では初となる優勝を果たしました。